第374空輸航空団副司令官　横田での2度目の任務を終える

374 AW DCOM concludes second tour at Yokota

March 18, 2025

By Senior Airman Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

3月12日、第374空輸航空団副司令官ブレット・コクラン大佐が、横田基地での最後のフライト（通称：フィニ・フライト）を終え、任務を締めくくった。フィニ・フライトは、操縦士が部隊を離れる際や最後の飛行に際して行われる空軍伝統行事となっている。

1

（写真1）フィニ・フライトを終え、水かけの祝福を受けるコクラン大佐。

コクラン大佐は、2023年6月から2025年3月まで横田基地第374空輸航空団の副司令官を務め、太平洋地域における国防総省唯一の空輸航空団の司令官を、管理、訓練および指揮統制面において補佐してきた。

2

（写真2）フィニ・フライト後に、家族と記念撮影を行うコクラン大佐。

今回、横田基地への赴任は2度目で、前回は2009年から2012年。C-130Hハーキュリーズの教官操縦士および指揮統制部の部長を歴任し、2011年の東日本大震災の時には、基地の初動対応において極めて重要な役割を果たした。

3

（写真3）横田基地でのフィニ・フライトを終え、第374空輸航空団司令官リチャード・マックエルハニー大佐（左）から、在任中の功績を称え「勲功章」を授与されるブレット・コクラン大佐（右）。